

あ と が き

1986年を迎えて、透析医会の皆様の健康と腎不全治療のよりよい発展をお祈りします。

日本透析医会雑誌第一巻第二号の骨格をなす論文として、腎不全医療の需要の動向（西 三郎先生）と、透析患者の社会復帰（市川洋先生）を掲載いたしました。両先生ともに、直接透析医療に携わってられない先生であるにもかかわらず、このような研究をしていただいたことは、我々の心からの喜びであります。それとともに、我々医会会員自らもますます研究・治療に努力し、医療の進歩に貢献しなければならないとの思いを深くします。

日本透析医会雑誌第一巻第一号を手にしてすぐに、青木正先生が論文をお書きになり、本誌へ投稿いただいたことは、編集部員一同の大きな喜びでした。皆様からの多くの論文により、この雑誌が発展するとともに、腎不全治療もまた質が高く発展し、地域社会に貢献できることを心から願っております。

編集責任者 太田 裕 祥